

本県のバイオクラスター形成のための推進体制について

慶應先端研及び県内関係機関が連携し、先導的なバイオ技術を核とした知的・産業クラスター（バイオクラスター）の形成を推進

全体管理・総合調整

- バイオクラスター形成に関する合意形成
- バイオクラスター形成に向けて共通で取り組むべき事項の合意形成
- バイオクラスター形成に係る重要事項の合意形成

- 共同研究の推進
- 関係機関の取組みの調整
- 推進会議に関する事前調整

**山形県バイオクラスター
形成推進会議**

会 長：山形県知事
副会長：鶴岡市長
構成団体：大学関係者、各産業支援機関等

成果活用推進・拡大委員会

委員長：県商工労働部工業戦略技術振興課科学技術政策主幹
副委員長：鶴岡市企画部政策企画課長
構成団体：大学関係者、各産業支援機関等

県工業戦略技術振興課・鶴岡市政策企画課

※管理法人への指導、助言、先端研への働きかけ

マネージメント・コーディネーター

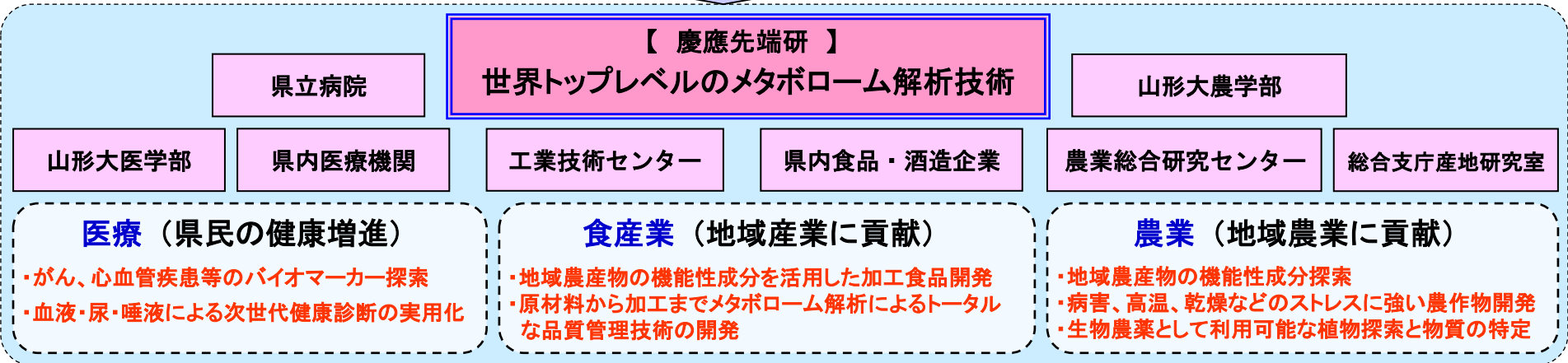
慶應先端研内の
コーディネート部門

連携
調整

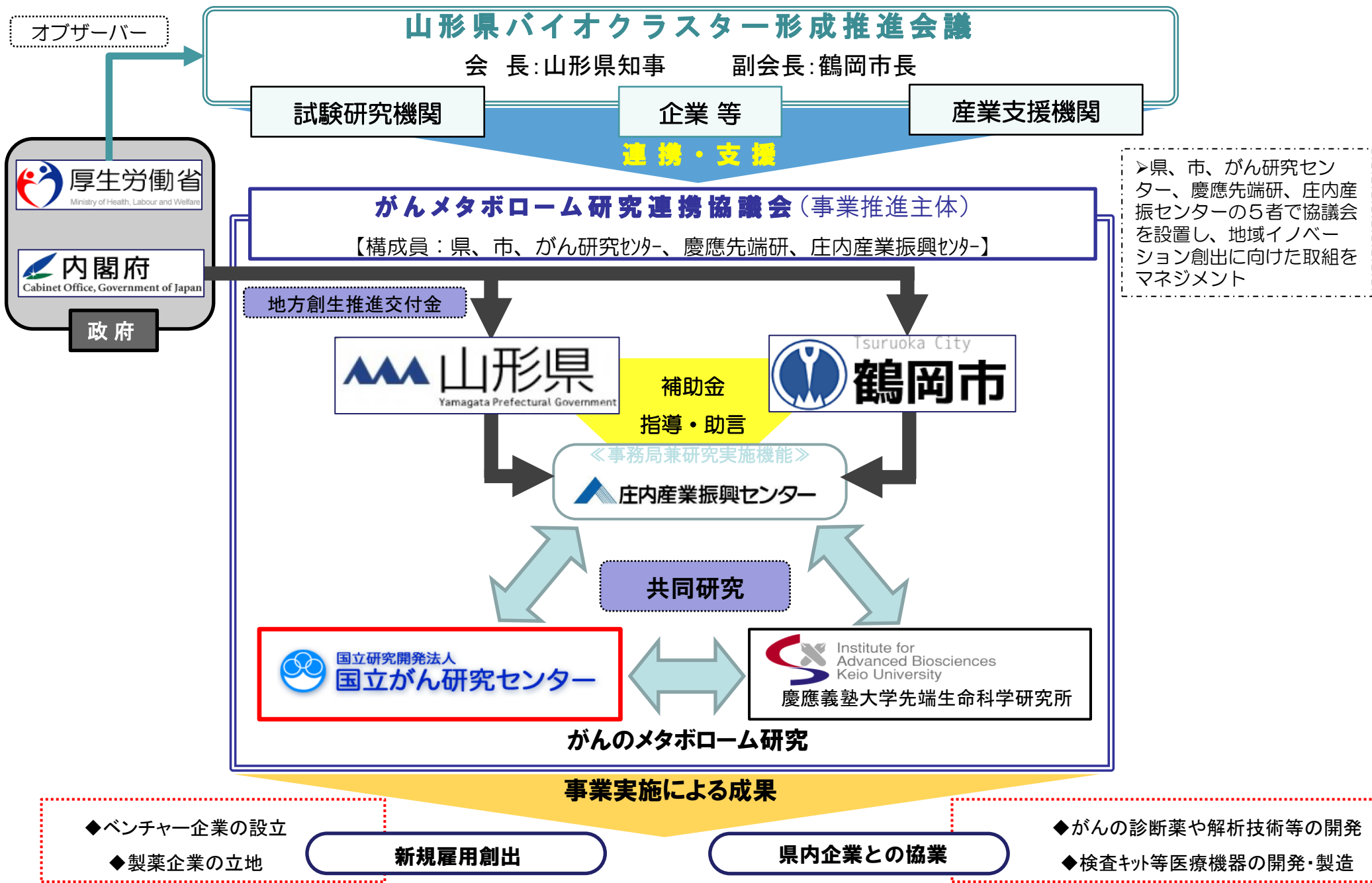
管理法人機能
(公財)庄内地域産業振興センター
(公財)山形県産業技術振興機構
※コーディネーターを配置

- ①県内ニーズの調査・発掘
- ③研究成果の活用支援
- ②県内研究機関の連携支援
- ④国等の外部資金事業の総括

地域内での共同研究



がんメタボローム研究推進に係るスキーム図



山形県におけるバイオクラスター形成に向けた平成29年度の実績について

1 クラスター形成に向けた全県的な取組の推進

(平成29年度実績額 40,373千円)

(1) 産学官金が連携した全県的な取組体制の推進

- 山形県バイオクラスター形成推進会議の開催
 - ・平成29年7月10日に開催
 - ・平成29年6月8日に成果活用推進・拡大委員会を開催
- 山形県合成クモ糸繊維関連産業集積会議の開催
 - ・平成29年5月24日に事業調整委員会を開催



山形県バイオクラスター形成推進会議

(2) 県内企業によるバイオ技術を活用した事業化促進の取組

- 県内企業等の開発ニーズと慶應先端研の研究シーズのマッチング及び共同研究の促進を図るため、(公財)庄内地域産業振興センターにコーディネーター機能を整備
 - ・産学連携推進コーディネーター3名の配置
 - ・慶應先端研との共同研究に対する助成
シーズ探索型4件、事業化推進型5件を助成



東北ハムとの共同研究成果発表会

2 慶應義塾大学先端生命科学研究所の研究教育活動の支援(平成29年度実績額 350,098千円)

○ 県、鶴岡市、慶應義塾の3者による協定に基づく慶應義塾大学先端生命科学研究所の研究教育活動に対する支援(第4期:平成26年度から平成30年度まで)

- ・ 医療・農業・食品・環境の分野におけるメタボローム技術を活用した応用研究の推進
- ・ 県内企業等との共同研究実施数 19件
- ・ 地域の人材育成の取組
特別研究生20名、研究助手8名、
高校生バイオサミット参加人数188名
- ・ 国際会議・学会の開催等による人的交流の促進
主催学会等参加者数 81名、研究所視察者数 2,068名



高校生バイオサミットin鶴岡

3 がんメタボローム研究の推進支援 (平成29年度実績額 150,490千円)

○ 国立がん研究センターとの連携研究拠点「がんメタボロミクス研究室」を設置し、慶應先端研との共同研究を推進

- ・ 国立がん研究センター、慶應義塾、山形県及び鶴岡市による4者で、がんメタボローム研究の推進に係る協定を締結
- ・ 研究員を配置し、創薬、診断薬の開発等に向けたがん研究を開始



がんメタボローム研究推進に係る協定締結式

山形県におけるバイオクラスター形成に向けた平成30年度の取組について

1 クラスター形成に向けた全県的な取組の推進 (平成30年度予算額 73,698千円)

(1) 産学官金が連携した全県的な取組体制の推進

- 山形県バイオクラスター形成推進会議の開催
平成30年8月28日に成果活用推進・拡大委員会を開催
- 山形県合成クモ糸繊維関連産業集積会議の開催
平成30年5月23日に事業調整委員会を開催

(2) 県内企業によるバイオ技術を活用した事業化促進の取組

- 県内企業等の開発ニーズと慶應先端研の研究シーズのマッチング及び共同研究の促進を図るため、(公財)庄内地域産業振興センター及び(公財)山形県産業技術振興機構にコーディネート機能を整備
 - ・ 産学連携推進コーディネーター3名の配置
うち1名を(公財)山形県産業技術振興機構に配置し、内陸地域でのコーディネート活動を強化
 - ・ 慶應先端研との共同研究に対する助成
シーズ探索型6件を採択
- 慶應先端研開発バイオベンチャーの事業化に向けた取組を支援
 - ・ 研究開発、設備導入等に対する助成 1件を採択

2 慶應義塾大学先端生命科学研究soの研究教育活動の支援(平成30年度予算額 351,218千円)

- 県、鶴岡市、慶應義塾の3者による協定に基づく慶應義塾大学先端生命科学研究soの研究教育活動に対する支援(第4期:平成26年度から平成30年度まで)
 - ・ 医療・農業・食品・環境の分野におけるメタボローム技術を活用した応用研究の推進
 - ・ 県内試験研究機関・企業等との実用化を見据えた共同研究や研究成果の県内での活用支援等の連携の推進
 - ・ 地域の人材育成(近隣の高校生を対象とした特別研究生の受入れ、高校生バイオサミットの開催等)
 - ・ 国際会議・学会の開催等による人的交流の促進

3 がんメタボローム研究の推進支援(平成30年度予算額 107,054千円)

- 国立がん研究センターとの連携研究拠点「がんメタボロミクス研究室」において慶應先端研と連携しメタボローム技術を活用したがん研究を推進
 - ・ 国立がん研究センター、慶應先端研、県、鶴岡市で構成する「がんメタボローム研究推進委員会」において統括し、着実な研究を推進
 - ・ 既存産業との連携・交流を進め、県内企業との共同研究を推進
 - ・ 県民、市民向けセミナーを開催し、がん研究への理解を促進